

第93期中間事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで



エスビー食品株式会社

株主の皆様にはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり、誠にありがとうございます。たく厚く御礼申し上げます。

ここに当社第93期中間期（平成17年4月1日～平成17年9月30日）の営業の概況と決算のご報告を申し上げます。

当中間期のわが国経済は、好調な企業業績を背景に民間設備投資が堅調に推移し、また雇用・所得環境に改善が見られるなど緩やかな回復基調が続きましたが、一方で原油価格の高止まりなどの懸念材料も顕在化してきました。

食品業界におきましては、個人消費の回復傾向が定まらないなか、長期化が続く低価格志向に原油高による素材価格の上昇も加わり、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当社は企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、お客様の視点に立った事業活動を推進してまいりました。安全・安心な製品をお届けいたしますため、引き続き品質管理・安全対策の強化に努めますとともに、「お客様の声」を製品の研究開発や改良・改善に活かしてまいりました。本年4月には、従来より継続して取り組んでまいりました原材料から製品にいたるまでの生産履歴に関する情報管理システムが稼動いたしました。また、生産性向上のための諸施策を進めるなどトータルコストの低減にも努めます一方で、販売面におきましては、お客様の視点での売場提案やメニュー提案を行い、きめ細かな営業活動を展開してまいりました。

以上の結果、当中間期の売上高は521億29百万円（前年同期比103.2%）、経常利益は15億85百万円（前年同期比105.3%）、中間純利益は9億85百万円（前年同期比156.7%）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、前期と同様1株につき5円とさせていただきます。

通期の見通しにつきましては、景気は緩やかな回復基調が今後も続くものと期待されますが、原油価格高騰の長期化や米国をはじめとする海外経済の動向など、先行き懸念材料があります。

食品業界におきましても、原油価格の高騰や社会保険料の増加、また来年予定されております税制変更などによる影響から、個人消費の回復傾向が確かなものとなるにはなお時間を要し、今後とも経営環境は厳しいものと思われまます。

当社といたしましては、このような情勢のもと、「真の顧客満足の追求」の企業理念の具現化に向けて、引き続きお客様の視点に立った事業活動を推進してまいります。

お客様に安全・安心な製品を提供いたしますため、品質管理と安全対策を徹底いたしますとともに、「お客様の声」に応えた価値ある製品の開発に励んで参ります。また、さらなる原価低減と経費削減に努め、市場競争力の強化と企業価値の向上に取り組んでまいります。

経営面におきましては、変化の激しい経営環境に迅速・的確に対応いたしますため、執行役員制度を活用し、より一層の経営のスピードアップとコーポレート・ガバナンスの強化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

平成17年12月



代表取締役社長
江戸龍太郎

目次

株主の皆様へ	1
部門別業績の状況（単体）	3
トピックス	5
業績の推移（単体）	7
業績の推移（連結）	8
財務諸表（単体）	9
財務諸表（連結）	11
会社情報	13

●香辛料部門

本年2月に発売した高級タイプの「FAUCHON」スパイスや9月発売の安全・安心・環境にこだわった有機JAS認定の「有機スパイス」シリーズなどの洋風スパイスが伸張いたしましたことにより、売上高は前年同期比2億91百万円増の72億1百万円となりました。



●即席部門

市場が依然伸び悩むなかで、主力製品の「とろける」シリーズが引き続き順調に推移いたしますとともに、リッチな味わいとスパイシー感が特徴の「スパイシーリッチカレー」や世界の家庭料理が簡単にお楽しみいただける「世界の食卓から（ブイヤベース、ポトフなど）」シリーズなどの新製品が貢献いたしましたことにより、即席部門の売上高は前年同期比5億41百万円増の156億90百万円となりました。



●香辛調味料部門

「本生 生わさび」などの「本生」シリーズをはじめ、お客様の本物志向によりお応えした「生おろし本わさび」などの無着色シリーズのチューブ製品が引き続き高い評価をいただき、市場成熟化のなかで着実にシェアを伸ばしました。また、中華調味料では李錦記ブランド製品が「麻婆豆腐の素」などの中華合わせ調味料を加え、順調に売上を拡大し、香辛調味料部門の売上高は前年同期比9億11百万円増の128億円となりました。

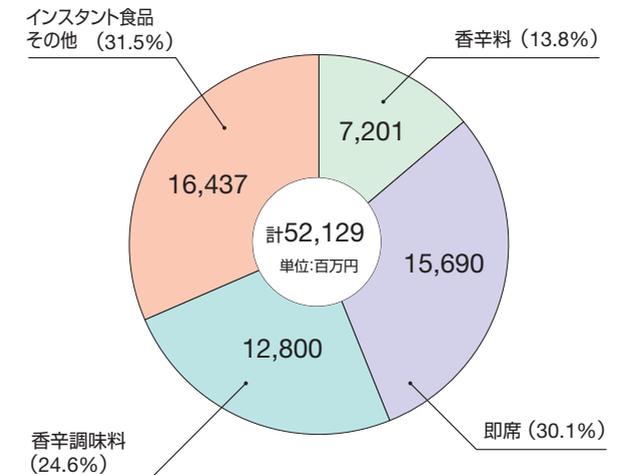


●インスタント食品部門

レトルトカレーにおきましてはデミグラスソースのkokと深い味わいが特徴の「デミカレー」が新発売以来お客様よりご好評をいただきました。また、パスタソースは「予約でいっぱいのお店」シリーズが新製品寄与もあり好調に推移し、トータルシェアを伸張することができました。一方、具材付のセット米飯の「予約でいっぱいのお店のリゾット」シリーズは順調に売上を伸ばしたものの、無菌包装米飯全体では競争激化の影響を受けました。その結果、インスタント食品部門全体としての売上高は前年同期比1億12百万円減の164億37百万円となりました。



当中間期
部門別売上構成



「社会・環境報告書2005」発行

当社は「真の顧客満足の追求」を唯一の企業理念として、お客様の視点に立った企業活動を取り続けるよう日々努めていますが、この企業理念を遂行するために環境保全活動についても積極的に取り組んでいます。そして、本年9月に2004年度の環境活動状況をまとめた「社会・環境報告書2005」を発行しました。

今回は、企業として一層の説明責任を果たすべく報告の対象範囲を関係グループ企業にも拡げて公表していますが、この報告書を通じてより多くの方々とのコミュニケーションを図りたいと考えています。

この社会・環境報告書は、当社ホームページ [<http://www.sbfoods.co.jp/profile/comj/kankyo/index.htm>] にて公開していますが、その内容の一部を紹介します。

◆社会・環境マネジメントシステム◆

これまで生産工場においてISO14001を取得し環境負荷低減に取り組んできましたが、本年3月から非生産事業所においても独自の社会・環境マネジメントシステムを立ち上げ、運用を開始しました。このシステムでは、オフィスでの環境負荷低減活動を行うとともに、社会貢献活動も推進しています。

◆物流での取り組み◆

物流における環境負荷を低減するため、モーダルシフト（道路輸送から鉄道・海上輸送への転換）を推進するとともに、共同配送の拡大、積載効率の向上などによる車両台数の削減などに取り組んでいます。



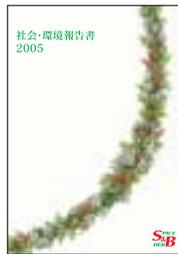
首都圏物流センター

◆社会貢献活動◆

食を起点としたさまざまな活動を通して社会や地域双方向のコミュニケーションに努め、将来にわたる企業の社会的責任を果たすよう努めています。



2004スパイス&ハーブフェスタ



新製品NEWS

[有機スパイスシリーズ]

食品に対する「安全・安心・健康」への関心が高まるなか、健康や環境にこだわった新しい価値を提案する製品として、有機JAS認定のスパイスシリーズを新発売しました。

世界各地から厳選した、安全・安心な有機原料を使用し、パッケージも環境への負担をできるだけ減らすような設計になっています。また、この製品の収益の一部は森林保護活動に役立てます。



「サンズコート (SUN'S COURT) ecute品川店」オープン

東京・代官山にあるハーブの専門店「サンズコート (SUN'S COURT)」の姉妹店として、「サンズコート (SUN'S COURT) ecute品川店」が本年10月、注目を浴びる駅中（エキナカ）商業施設、ecute品川内にオープンしました。

ハーブは食生活のみならず、アロマセラピーやガーデニングといった衣食住のあらゆる部門に関わりながら成長を続けています。最近の自然志向の高まりは、益々ハーブへの関心を深めていくと思われます。

また最近では、「LOHAS」という言葉が広まっています。これは、「健康と環境を志向するライフスタイル」と訳され、新しい価値観や生活スタイルをもつ生活者を総称する表現とされています。

こうしたなかで同店は、様々なハーブ関連商品とエコ・ユニバーサルデザイングッズを融合させ、健康・環境に優しいLOHAS生活を提案する、新しいタイプの店舗を目指しています。



店内風景



ハーブティーやアロマセラピーグッズなどの品揃え

店舗概要

所在地：東京都港区高輪3-26-27

JR品川駅構内・ecute品川2F

TEL：03-3449-5101

営業時間：月～土 10:00～22:00

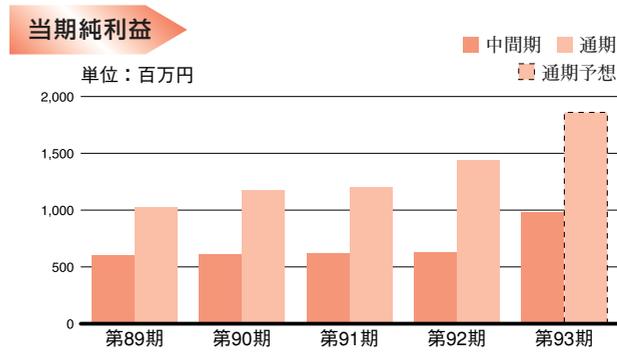
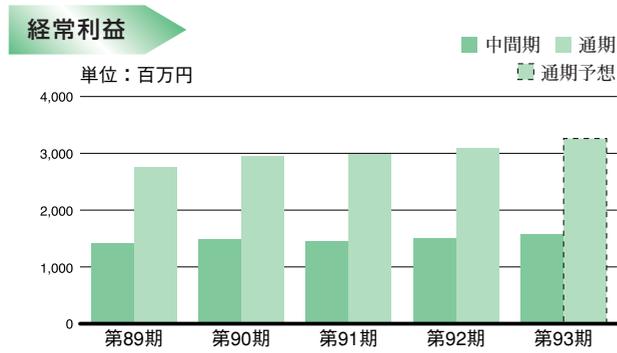
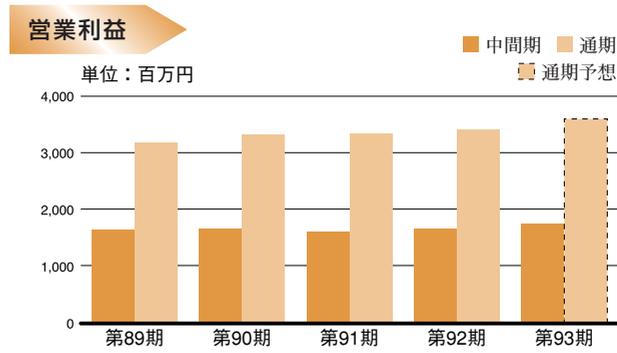
日曜日 10:00～20:00

[世界の食卓からシリーズ]

世界各国の煮込み料理は、外食メニューの多様化などでその認知度が高まっています。また、一方で消費者の新しいメニューへのトライアル志向が強まっています。

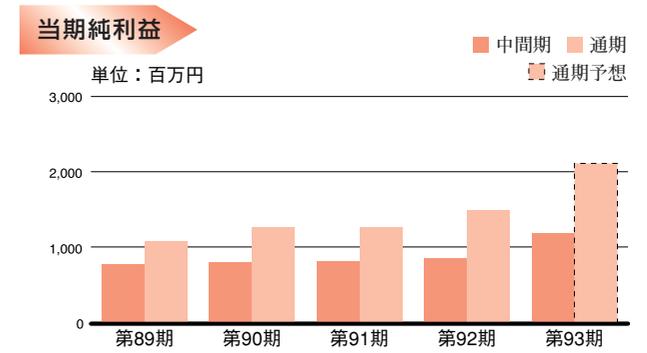
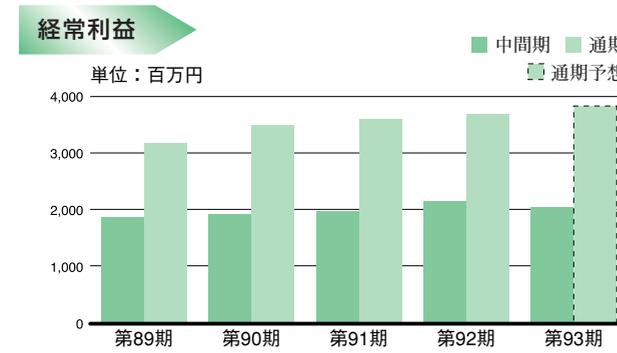
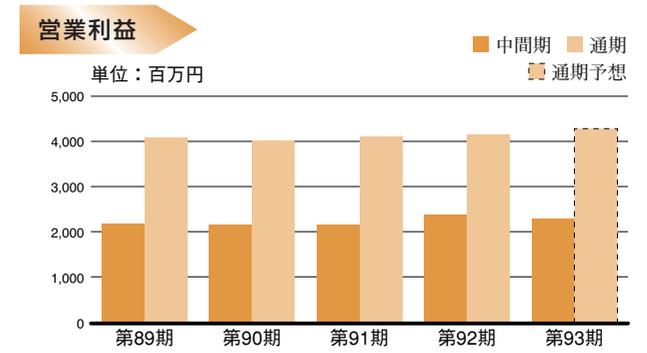
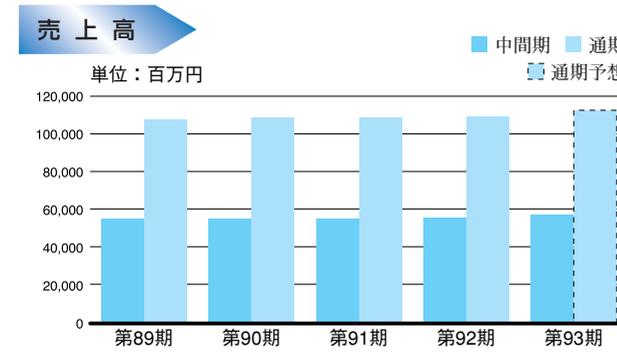
そこで、いつも家庭で使っている素材で世界の煮込み料理が簡単にできる製品を発売しました。化学調味料不使用ですので、具材のおいしさを引きだす自然な味わいが特徴です。





区 分	第89期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)	第90期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	第91期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第92期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	当中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
売上高 (百万円)	97,815	99,389	99,878	101,558	52,129
営業利益 (百万円)	3,189	3,318	3,341	3,405	1,761
経常利益 (百万円)	2,761	2,954	2,995	3,088	1,585
当期純利益 (百万円)	1,031	1,173	1,206	1,444	985
1株当たり当期純利益 (円)	29.59	31.93	32.78	39.62	28.30
純資産 (百万円)	16,856	16,974	19,622	20,902	23,145
総資産 (百万円)	74,861	72,995	73,056	75,518	79,701

(注) 第90期より、1株当たり当期純利益の算定にあたりましては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。



区 分	第89期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)	第90期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	第91期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第92期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	当中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
売上高 (百万円)	107,400	108,792	108,984	110,470	57,366
営業利益 (百万円)	4,099	4,026	4,095	4,292	2,307
経常利益 (百万円)	3,189	3,505	3,658	3,827	2,054
当期純利益 (百万円)	1,092	1,270	1,307	1,722	1,202
1株当たり当期純利益 (円)	31.33	34.16	34.76	38.97	34.51
純資産 (百万円)	17,420	17,630	20,347	21,695	24,083
総資産 (百万円)	93,233	89,370	87,955	90,016	93,812

(注) 第90期より、1株当たり当期純利益の算定にあたりましては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。

■貸借対照表

科 目	当中間期末 (平成17年9月30日現在)	前中間期末 (平成16年9月30日現在)
[資産の部]		
流動資産	41,619	40,525
現金及び預金	7,844	6,749
受取手形	6,678	6,504
売掛金	17,345	17,020
たな卸資産	6,167	6,452
前払費用	282	282
繰延税金資産	1,283	1,220
短期貸付	2,750	3,070
その他の金	626	591
貸倒引当金	△1,359	△1,365
固定資産	38,075	35,338
有形固定資産	19,536	19,861
建物	6,453	6,726
構築物	379	418
機械及び装置	3,098	3,318
車両及び運搬具	33	38
工具器具及び備品	715	643
土地	8,373	8,470
建設仮勘定	482	245
無形固定資産	1,162	829
投資その他の資産	17,376	14,647
投資有価証券	9,970	6,343
関係会社株	898	918
出資	670	687
長期貸付	3,335	3,250
更生債	0	0
長期前払費用	23	35
繰延税金資産	1,096	1,296
再評価に係る繰延税金資産	970	1,676
差入保証金	297	290
敷金の	180	181
その他の金	329	312
貸倒引当金	△394	△347
繰延資産	6	19
資産合計	79,701	75,884

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科 目	当中間期末 (平成17年9月30日現在)	前中間期末 (平成16年9月30日現在)
[負債の部]		
流動負債	40,462	32,466
支払手形	4,526	4,539
買掛金	8,657	8,947
短期借入金	6,695	6,295
一年以内に返済する長期借入金	2,738	2,431
一年以内に償還する社債	6,000	—
未払金	8,184	6,843
未払費用	286	282
未払法人税等	820	831
賞与引当金	904	903
その他の	1,648	1,391
固定負債	16,093	23,660
社債	4,000	10,000
長期借入金	7,197	9,228
退職給付引当金	4,649	4,184
債務保証損失引当金	213	213
その他の	32	34
負債合計	56,556	56,127
[資本の部]		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,343	5,343
資本準備金	5,343	5,343
その他資本剰余金	0	0
自己株式処分差益	0	0
利益剰余金	14,490	14,118
利益準備金	436	436
任意積立	12,607	12,652
退職給与積立	1,033	1,069
厚生施設積立	700	700
固定資産圧縮積立	206	215
別途積立	10,668	10,668
中間未処分利益	1,446	1,029
土地再評価差額金	△1,396	△2,413
その他有価証券評価差額金	2,990	985
自己株式	△26	△21
資本合計	23,145	19,756
負債及び資本合計	79,701	75,884

■損益計算書

(単位：百万円)

科 目		当中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	前中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)
経常	営業収益	52,129	50,497
	売上高	52,129	50,497
	営業費用	50,368	48,832
	売上原価	27,355	26,942
	販売費及び一般管理費	23,013	21,890
	営業利益	1,761	1,664
損益の部	営業外収益	172	149
	受取利息	35	30
	受取配当金	55	45
	不動産賃貸料	52	38
	その他の	29	35
	営業外費用	348	308
	支払利息	194	209
	社債利息	86	85
	貸倒引当金繰入	54	4
	その他の	12	8
	経常利益	1,585	1,505
特別損益の部	特別利益	31	31
	損害賠償金	26	31
	その他	5	0
	特別損失	154	472
	固定資産除却損失	27	93
	減損損失	60	352
	投資有価証券評価損	—	3
	出資金評価損	11	3
	貸倒引当金繰入	—	19
	建物等解体費用	39	—
その他の	14	0	
	引前中間純利益	1,463	1,063
法人税、住民税及び事業税	784	796	
法人税等調整額	△306	△361	
中間純利益	985	629	
前期繰越利益	434	440	
土地再評価差額金	26	△40	
中間未処分利益	1,446	1,029	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■貸借対照表 (平成17年9月30日現在)

科 目	当中間期末
[資産の部]	
流動資産	47,085
現金及び預金	8,908
受取手形及び売掛金	24,745
有価証券	104
たな卸資産	6,689
短期貸付金	6,000
その他の他	2,846
貸倒引当金	△2,209
固定資産	46,720
有形固定資産	28,886
建物及び構築物	10,491
機械装置及び運搬具	5,829
土地	10,678
その他の他	1,887
無形固定資産	1,213
連結調整勘定	43
その他の他	1,169
投資その他の資産	16,619
投資有価証券	10,290
その他の他	7,169
貸倒引当金	△840
繰延資産	6
資産合計	93,812

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科 目	当中間期末
[負債の部]	
流動負債	51,227
支払手形及び買掛金	11,167
短期借入金	20,740
一年以内に償還する社債	6,000
未償与引当金	8,782
その他の他	1,126
固定負債	3,410
社債	4,000
長期借入金	9,160
退職給付引当金	5,142
債務保証損失引当金	124
その他の他	35
負債合計	69,691
少数株主持分	37
[資本の部]	
資本金	1,744
資本剰余金	5,343
利益剰余金	15,384
土地再評価差額金	△1,396
その他有価証券評価差額金	3,036
為替換算調整勘定	△0
自己株式	△26
資本合計	24,083
負債、少数株主持分及び資本合計	93,812

■損益計算書 (平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

科 目	当中間期
売上高	57,366
売上原価	30,955
売上総利益	26,410
販売費及び一般管理費	24,103
販売促進費	14,069
広告宣伝費	1,960
貸倒引当金繰入額	23
賞与引当金繰入額	538
退職給付費用	406
その他の他	7,105
営業利益	2,307
営業外収益	196
受取利息	31
受取配当金	56
不動産賃貸料	57
その他の他	50
営業外費用	449
支払利息	363
貸倒引当金繰入額	49
その他の他	35
経常利益	2,054
特別利益	54
固定資産売却益	23
損害賠償金	26
その他の他	4
特別損失	285
固定資産除却損失	54
減損損失	62
出資金評価損	11
貸倒引当金繰入額	9
役員退職金	64
建物等解体費用	39
その他の他	43
税金等調整前中間純利益	1,823
法人税、住民税及び事業税	950
法人税等調整額	△332
少数株主利益	2
中間純利益	1,202

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■剰余金計算書 (平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

科 目	当中間期
(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高	5,343
資本剰余金増加高	0
自己株式処分差益	0
資本剰余金中間期末残高	5,343
(利益剰余金の部)	
利益剰余金期首残高	14,485
利益剰余金増加高	1,229
中間純利益	1,202
土地再評価差額金取崩額	26
利益剰余金減少高	330
配当金	174
役員賞与	156
利益剰余金中間期末残高	15,384

■キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで) (単位:百万円)

科 目	当中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	977
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,625
財務活動によるキャッシュ・フロー	△792
現金及び現金同等物に換える換算差額	6
現金及び現金同等物の減少額	△1,433
現金及び現金同等物の高	10,729
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,296

■会社概要 (平成17年9月30日現在)

- ・商号 エスビー食品株式会社
- ・本社所在地 東京都中央区日本橋兜町18番6号
- ・本社事務所所在地 東京都板橋区宮本町38番8号
- ・設立年月日 昭和15年4月5日(創業大正12年)
- ・資本金 1,744百万円
- ・従業員数 993名(男性824名、女性169名)
- ・主要な事業内容 香辛料グループ(カレー粉、コショウ、ガーリックなど)、即席グループ(ゴールデンカレー、ディナーカレー、とろけるカレー、とろけるシチューなど)、香辛調味料グループ(本生生わさび、ねりからしなど)、インスタント食品グループ・その他(おでんの素、レトルト食品、無菌包装米飯など)の製造販売

■株式の状況 (平成17年9月30日現在)

- ・会社が発行する株式の総数 88,000,000株
- ・発行済株式の総数 34,885,585株
- ・1単元の株式の数 500株
- ・株主数 3,354名
- ・大株主

株主名	持株数	出資比率
峯栄興業株式会社	3,045千株	8.73%
山崎兄弟会	3,000	8.60
株式会社東京三菱銀行	1,720	4.93
農林中央金庫	1,720	4.93
株式会社東京都市銀行	1,222	3.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,000	2.87
日本生命保険相互会社	904	2.59
セコム損害保険株式会社	881	2.53
大日本印刷株式会社	661	1.90
第一生命保険相互会社	622	1.78

■役員 (平成17年9月30日現在)

代表取締役会長	山崎 勝	監査役(常勤)	中山 俊明
代表取締役社長	江戸 龍太郎	監査役(常勤)	小池 宗夫
取締役副社長	佐藤 幸雄	監査役	國分 勘兵衛
取締役副社長首席執行役員	海野 祐造	監査役	松延 洋平
取締役専務執行役員	岡安 久治		
取締役常務執行役員	荻原 敏明	常務執行役員	黒田 恒夫
取締役常務執行役員	佐藤 哲也	執行役員	矢野 邦宏
取締役常務執行役員	前澤 孝一	執行役員	中野 史夫
取締役執行役員	山崎 明裕	執行役員	山崎 雅也
取締役エスビーグループ代表	山崎 達光		

■主な事業所 (平成17年10月1日現在)

名称	所在地	名称	所在地
本社	東京都	中部BU	愛知県
エスビースパイスセンター(本社事務所)	東京都	北陸BU	石川県
北海道BU	北海道	関西第1BU	大阪府
東北第1BU	岩手県	関西第2BU	大阪府
東北第2BU	宮城県	中四国第1BU	香川県
関東第1BU	埼玉県	中四国第2BU	広島県
関東第2BU	千葉県	九州第1BU	福岡県
関東第3BU	東京都	九州第2BU	福岡県
関東第4BU	東京都	九州第3BU	鹿児島県
関東第5BU	神奈川県	沖縄縄BU	沖縄県
新潟潟BU	新潟県	上田工場	長野県
長野BU	長野県	東松山工場	埼玉県
静岡BU	静岡県	宮城工場	宮城県

(注)上記表中「BU」はビジネスユニットを省略記載したものです。

スパイスとハーブはS&B

株主メモ

決算期日	3月31日(年1回)
配当金受領株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	6月中
名義書換代理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
(郵便物送付先)	〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号
(お問合せ先)	日本証券代行株式会社 代理人部 (住所変更等用紙のご請求) フリーダイヤル 0120-707-842 (その他のご照会) フリーダイヤル 0120-707-843 (ホームページアドレス) http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html
同 取 次 所	日本証券代行株式会社 各支店
公 告 掲 載 新 聞	東京都において発行する日本経済新聞
株 主 優 待 制 度	有
貸借対照表・損益計算書 掲 載 ア ド レ ス (ホームページアドレス)	http://www.sbfoods.co.jp/

【単元未満株式の買増制度のご案内】

当社では、株主様の便宜をお図りするために、1単元(500株)に満たない株式の数をご所有の株主様は、お手許の単元未満株式と併せて1単元になる数の株式を買増請求できる制度を導入しております。お手続きなどの詳細につきましては上記の名義書換代理人あてにご照会ください。なお、証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引証券会社あてにご照会ください。